

桃山学院大学と和泉市との連携事業 結果一覧表(平成29年度)

(平成30年3月末日現在)

No.	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
1	和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」との連携事業(子育て世代応援「ももやまキッズランド」)	市長公室 公民協働推進室 公民協働推進担当	学生支援課 ボランティア活動 支援室	●アイ・あいロビーとコミュニティカフェオアシス及び学生が協働し、子育て世代の応援企画として「ももやまキッズランド」をアイ・あいロビーにて5月、7月、9月、12月、2月、3月の計6回開催し、参加した親子と学生によるプラ板づくりやスライム作り・バルーン教室など様々なイベントを通じて一緒に楽しむことで地域のつながりをつくり、コミュニティの活性化につながる事業を実施した。	普段交流することが少ない学生と協働することで新たなつながりやコミュニティが生まれ、アイ・あいロビーの周知、活性化につながっている。
2	防犯ボランティア「桃ノバト」	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	学生支援課	●学生が大阪府警本部、和泉警察署、本市と連携し、青色防犯パトロールカーによる見守り活動を中心に実施した。 平成29年 4月 20日 青パト合同パトロール 久保惣記念美術館駐車場 平成29年 10月 12日 青パト合同パトロール 久保惣記念美術館駐車場 平成29年 10月 20日 夜間パトロール 緑ヶ丘小学校区 平成29年 11月 28日 夜間パトロール 緑ヶ丘小学校区 平成30年 2月 13日 防犯クロスロード教室 緑ヶ丘小学校 平成30年 2月 14日 防犯クロスロード教室 緑ヶ丘小学校 平成30年 2月 15日 防犯クロスロード教室 緑ヶ丘小学校 他にも地元のみずみ緑ヶ丘自治会と合同で緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動(週1~2回)や同自治会の夏祭り、防災訓練にも参加した。	ボランティア活動が活性化し、地域の安全・安心感の醸成に寄与している。
3	法職オリエンテーション	市長公室 人事課	法学部	●法学部1回生を対象に、学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに将来の就職先として、和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長自ら大学へ向向き、市役所の仕事や和泉市について講義を行った。	学生の将来の就職先として市役所を志望し、新規採用職員に申込みしていただいている。
4	和泉市交換学生派遣・受入事業(ブルーミントン市)	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	国際センター	●姉妹都市・米国ブルーミントン市から交換学生(高校生・大学生)が来日した際、茶道部と弓道部を訪問し交流した。 【和泉市、和泉市国際交流協会共催】	日本の伝統文化にふれながら学生達が相互理解を深め、友情を育むことができた。以前、和泉市から交換学生として参加した学生や、ツインシティマラソンに参加した教授も加わって幅広く交流を深めることができた。
5	公共サービスイノベーション人材育成事業	環境産業部 市民室 出張所担当	経営学部	●市役所の窓口サービスのような公共サービスをより良くするための調査・提案活動をゼミの一環で行った。学生による現地調査の結果を踏まえ、下記改善案に取り組んだ。 ①指差し会話シートの作成 出張所に来庁する外国人やお年寄りの方など意思疎通が取りにくい方に絵柄と言葉で意思疎通が取りやすくなるための会話シートを作成。作成に当たっては、前年度に実施した窓口ごとの三原色の色分けを活用、「分かりやすさ」を重視するためユニバーサルデザインを取り入れた。 また、英訳については桃山学院大学国際センターにもご協力いただき、シートに掲載するイラストを学生がコダイくん・ロマンちゃんの着ぐるみを着用して撮影する等、細部にも手間を掛けている。 ②住民票等郵送請求書の改善 市のホームページに掲載している住民票等各種申請様式(郵送請求書及び記入例)を一覧表にして分かりやすく改善を行った。これは、学生から「各種申請書ダウンロードページをよりわかりやすい一覧表として作成すれば、あらかじめ自宅でプリントアウトした申請書に記入のうえ持参することで、待ち時間の短縮につながるのではないか」との提案によるものである。	①窓口業務では「限度額適用認定証」「印鑑登録」などの説明が困難な用語が多くあり、また、市内在住の外国人の方やお年寄りの方との意思疎通に時間がかかることが多々あったが、「指差し会話シート」を用いることで、スムーズでより的確に要望に応えることができるようになった。 ②窓口での待ち時間短縮につながり、利用者からも好評である。
6	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	学長室	●地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>推進協議会として、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、下記事業を実施した。 平成29年6月27日 夏の一斉美化活動、花の植替え作業 平成29年10月25日 桃山学院大学との連携による「おえかきまつり」開催 平成29年12月6日 秋の一斉美化活動、花の植替え作業 平成29年11月~平成30年2月 イルミネーション点灯	鉄道・バス事業者、商店街、学校など地域の多様な関係者と行政が協働して、魅力ある和泉中央駅周辺の空間を創造し、まちの活性化を図ることができた。
7	地域ビジネス実践	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部 経営学科	●地場産業であるいずみパール・いずみガラスを活用し、企画・商品開発・マーケティング分析、仕入れ、販売等についての授業に対し、地場産業の説明を行うなど授業でアドバイザーとして参加している。	-
8	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	学長室 地域連携室 エクステンションセンター	●「和泉市を知る ～和泉市内の企業をとおして～」をテーマとした社会人向け講座の調整・実施した。 11月21日 和泉市長講演「安心して子育てができるまち和泉市」(桃山学院大学) 11月27日 世界小売第2位のコストコを見学してみませんか? (コストコ和泉倉庫店) 11月29日 大阪府知事指定 大阪の伝統工芸品「和泉蜻蛉玉」(山月工房) 11月30日 〃 12月14日 いずみパールでアクセサリー作り(日本人造真珠硝子細工工業組合) 12月21日 商業施設運営のお仕事に触れてみよう(ららぽーと和泉)	延べ参加人数 107名

桃山学院大学と和泉市との連携事業 結果一覧表(平成29年度)

(平成30年3月末日現在)

No.	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
9	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 (CSWへのスーパーバイズ)	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> ●下記事業を実施し、専門的なアドバイスをいただいた。 <p>【第1回】(平成29年6月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSWと他機関の連携について 平成29年度の方向性を確認。 ・社会的居場所づくりプロジェクトについて 個別ケースの進捗状況、方向性の確認 イベントの実施・継続について ・ケース分類シートについて シートへの入力のマニュアル化について シートの見直しを検討した。 <p>【第2回】(平成29年9月1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的居場所づくりプロジェクトについて 個別ケースの進捗状況、方向性の確認 各イベントの振り返り、今後の予定について ・ケース分類シートについて シートの改良について、分類の方法、見せ方について ・活動報告書について 	CSWの活動の可視化、方向性の確認、新たな取組などについて専門的なアドバイスをいただきスキルアップにつながった。
10	みんなで取り組む地域づくり協議会	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の課題解決に取り組んでいる、地域住民を中心とした団体を側面的に支援する中で、地域住民による支援体制の構築や拠点づくりを推進するため、みんなで取り組む地域づくり協議会で学識経験者として専門的なアドバイスをいただいた。 <p>【第1回協議会】(平成29年4月13日) 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業研修の内容を検討した。</p> <p>【第2回協議会】(平成29年6月19日) みんなで取り組む地域づくりフォーラムの開催及び内容を決定した。 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業研修の内容を検討した。</p> <p>【みんなで取り組む地域づくりフォーラム】(平成29年10月1日) 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業及び団体の活動周知のためフォーラムを開催した。</p> <p>【第3回協議会】(平成30年2月27日) 平成30年度から新たに事業を実施する団体募集について報告した。 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業研修の内容を決定した。</p> <p>【みんなで取り組む地域づくり事業研修】(平成30年3月26日) 平成28年度に実施した市民アンケートでもニーズが高かった移送サービスについて 先駆的に取り組まれている太子町と富田林市の団体を講師に招き研修を実施した。</p>	フォーラム等で事業及び団体の活動を周知したことにより、モデル地域とは別の地域で住民による助け合い活動に取り組む団体が平成30年3月に1団体発足した。
11	社会的居場所づくりプロジェクト	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的に孤立している人(ひきこもり等)11人を対象に、CSWと社会学部や学生が協働でプロジェクトを実施。ゲーム大会やスポーツ大会等のイベントを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベント開催(計10回) ・イベント内容(女子会、ゲーム大会、スポーツ大会、卒業パーティー) ・地域の社会資源を活用したイベント開催 	イベントへの参加を通して対象者に他者との交流の場を提供し、対象者のコミュニケーション能力や自信の向上に繋がった。 また、専門的なアドバイスや学生のフレッシュな意見や地域の社会資源・関係機関との連携を活かし、CSWだけでは実現困難な取組を実施することができた。
12	消費者被害防止事業	生きがい健康部 福祉総務課	全学部 学生支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●学生が消費者被害に陥ることを未然に防止することを目的として、大学及び学生に対して消費者被害防止の意識向上等の取り組みとして下記事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学と和泉市でデザインを考えた消費者被害防止啓発チラシ『マルチ商法にご用心』を学生支援課の窓口で配布した。 	学生が陥りやすい消費者トラブルの注意喚起をおこない、被害の未然防止に役立っている。
13	消費者教育事業	生きがい健康部 福祉総務課	経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ●経済学部学生に対して消費者被害の現状と若者が陥りやすい消費者被害の未然防止をはじめ、消費者市民社会に向け、自立した消費者を育成するため、消費生活相談員を派遣し講演を行った。 <p>日時:平成29年6月26日 9時～10時30分 学部:経済学部 テーマ:「だまされないで悪質商法(若者向け)」 参加者:経済学部学生 80名</p>	成年年齢引き下げの民法改正は4年後、2022年4月1日から施行されることが決まり、若者の消費者被害防止と消費者問題・契約について学生の認識を深めることができた。

桃山学院大学と和泉市との連携事業 結果一覧表(平成29年度)

(平成30年3月末日現在)

No.	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
14	認知症地域で支え“愛”事業 (認知症サポーター養成講座・徘徊模擬訓練・回想法・認知症カフェ・認知症初期集中支援事業等)	生きがい健康部 高齢介護室 高齢支援担当	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度は下記の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の集いの場を開催し、悩みや不安を抱える市民の安らぎの場となっている。また、行政職員、認知症地域支援推進員、市民メイトの学習の場となっている。 ・緑ヶ丘校区においては、住民の認知症に関する意識・知識の向上のため、大学において研修会を4回実施。事前会議にアドバイザーとして出席いただき、企画内容等について助言をいただきました。 ・オレンジカフェボランティア養成研修 平成30年1月12日、2月13日で実施。企画内容の相談をさせていただき、講話もしていただきました。 	認知症施策に関連した事業を学生とともに取り組んでいくことで若い世代にも認知症のことを知ってもらう機会となっている。全国的にも数少ない若年性認知症の集い(大学主体で実施)に和泉市民が通えることで認知症本人及び家族の地域資源のひとつとなっている。当市の認知症施策に包括的に関わっていただくことで客観的な評価をしてもらえる。また、全国の協議委員等を任命されていることから国や他市の動向等の情報も教示していただいている。
15	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	学校教育部 指導室	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●春季(5月)と秋季(10月)に桃山学院大学でガイダンスを実施し、学生の希望や学校側の条件など、双方の調整や確認を行った。その後、学生が和泉市内の幼稚園や小中学校において、学習や運動の補助、支援が必要な児童へのサポートなど、様々な教育活動にあたった。平成29年度は18名の学生の参加があり、学生は当該活動が学外研修として単位認定される。 	学生が授業中や休み時間、放課後等のさまざまな時間に子どもたちと多く関わることで、子どもたちは楽しみや安心感を得られ、充実した幼稚園・学校生活へとつながったようである。また、学習の準備に時間がかかる子どもに根気よく対応してもらうことで、子どもの学習意欲を高めることもできた。現在の加配教員の少ない状況からすると、一人ひとりに応じた支援が求められている学校現場において、学生サポートの存在は大きな力となっている。
16	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (和泉市中学生生徒会サミット)	学校教育部 指導室	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生による「スマホの使い方」をテーマにグループ討議を行い、スローガンを決めた。 <p>日時:平成29年8月25日 13:00~16:30 場所:桃山学院大学 聖ヨハネホール 内容:各中学校園の生徒会の生徒によるグループ討議(教職課程在籍の学生との意見交流) 「スマホの使い方」をテーマにグループ討議を行い、スローガン「一度ストップ!それは他人を傷つけない?」を決めた。</p>	平成29年度で、7回目を迎え、生徒会役員にとっての活動の場となっている。また、当日は学生も含め意見交流を行い、考えを深める機会となっている。今回は、スマホの使い方についてグループ討議を行い、スマホの利点や課題などの意見を交流させ、自分たちの考えを深めることができた。
17	アメリカンフットボール部地域支援事業 (フライングフットボール指導)	学校教育部 指導室	アメリカンフットボール部	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度は、下記のとおり2回実施した。 <p>①日時:平成30年2月22日5~6時間目 場所:緑ヶ丘小学校グラウンド 内容:ボールの持ち方、ランの仕方、ランゲームの実践など。 緑ヶ丘小学校5年生 123名</p> <p>②日時:平成30年3月1日1~3時間目 場所:桃山学院大学グラウンド 内容:ボールの投げ方、キャッチの仕方、パスゲームの実践など。 緑ヶ丘小学校5年生 123名</p>	多くの児童が楽しく取り組むことができ、体育の授業でも取り組みたいという声が上がっていた。また、児童が学生とふれあう中で、スポーツを通して体力向上と異年齢交流をはかることができた。
18	博物館学芸員課程 博物館実習	生涯学習部 文化財振興課	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度は、下記事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・いずみの国歴史館にて学芸員課程の博物館見学の受け入れ(4月・2名) ・いずみの国歴史館にて学芸員課程の博物館実習の受け入れ(8/29~9/2・2名) ・桃山学院大学博物館学芸員課程の授業に職員が出講(9月) 	大学と歴史館との連携に寄与した。
19	桃山祭 地域連携ブース出展	生涯学習部 文化財振興課	学長室 学院史料室	<ul style="list-style-type: none"> ●桃山祭に、和泉市、泉大津市及び桃山学院大学(学院史料室)協働で、パネル展示を行った。和泉市では、いずみの国歴史館から、池上曾根遺跡の紹介パネルと模型を展示した。2日間で約700人の入場があった。 	大学との連携強化や池上曾根遺跡のPRにつながった。
20	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣)	生涯学習部 久保惣記念美術館	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度は、下記事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員課程学生の見学研修の受け入れを行った。(平成29年4月22日) ・インテグレーション科目「図書館・博物館への誘い」の講義を行った。(平成29年6月21日) 	見学研修では学芸員資格取得を目指す学生が直接現職の学芸員に接する機会を提供し、実際の展示を見てもらう場となった。また、講義では美術館の近隣にありながら存在を知らなかった学生もあり、美術館に関心をもってもらう機会となった。
21	広報への協力	生涯学習部 久保惣記念美術館	学長室	<ul style="list-style-type: none"> ●美術館のイベントチラシ等を大学内に配架した。 	大学と美術館の連携に寄与した。
22	放課後子ども教室推進事業 放課後子ども教室(げんきっ子クラブ) 留守家庭児童会(なかよしクラブ)	生涯学習部 生涯学習課	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●留守家庭児童会運営事業において、教育委員会教育センターが所管する桃山学院大学「学外研修(地域連携教育活動)」の制度を利用し、平成29年度においては、3名の学生に3校の留守家庭児童会(国府・鶴山台北・北池田)の活動補助に加わってもらった。 	留守家庭児童会に在籍する児童(小学1年生~6年生)について、学生と普段できない活発な遊び等を行うことによっけかけがえのない時間を過ごすことができた。

桃山学院大学と和泉市との連携事業 結果一覧表(平成29年度)

(平成30年3月末日現在)

No.	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
23	いずみ市民大学まちづくり学部における連携講義	生涯学習部 生涯学習課	学長室	●いずみ市民大学(まちづくり学部・教養学部)における連携講義の調整及び実施を依頼。今年度は10名の教員の協力のもと、まちづくり学部で計10回の講義やフィールドワーク、教養学部で6講座、計60回の講義を行い、市民大学設置の目的である市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成に協力いただいた。	まちづくり学部では、講義とフィールドワークにおいて、講座の趣旨に沿った専門的な講義をしていただけた。教養学部においては、市民の興味に基づいた講義をしていただけた。
24	和泉シティプラザにおける桃山学院大学インターンシップ実習生の受け入れ	生涯学習部 生涯学習課	キャリアセンター	●生涯学習連携事業の一環で実施しているインターンシップ制度で、図書館、保健福祉センター、男女共同参画センターに各1名受け入れた。	学生の社会貢献や参画の一助となっている。
25	ふれあいニューススポーツ教室	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 スポーツオフィス	●ニューススポーツを各日3種類程度取り入れ、月に1回桃山学院大学サブアリーナを借用し教室を実施した。 4月29日 ラダーゲッターほか 5月20日 スカイクロスほか 6月18日 クロリティほか 7月22日 ディスコンほか 8月20日 ボケットボールほか 9月16日 コーンホールほか 10月21日 マグダーツほか 11月12日 ビロポロほか 12月10日 公式ワナゲほか 1月20日 ベタンクほか 2月17日 ソフトラクロスほか 3月18日 どっとボールほか	ニューススポーツを市民に普及・振興させることができた。
26	信太山クロスカントリー大会IN大阪和泉	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	●第65回目を迎える信太山クロスカントリー大会 IN 大阪和泉の大会受付等に一般ボランティア、走行中のランナーの安全を確保するべく陸上競技部のランナーボランティアを学生支援課ボランティア活動支援室を通じて協力を依頼していたが、当日、陸上競技部が例年出場している大会とブックイング、またテスト期間中と重なったため、今回は協力を辞退、及びボランティア申し込みも無かった。	-
27	キッズスポーツフェスティバル	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	●雨天のため中止。	-
28	ニューススポーツフェスタ	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 スポーツオフィス	●ニューススポーツフェスタ2018 桃山学院大学メインアリーナにおいて実施。年齢を問わず、ライフステージに応じて様々なニューススポーツの楽しさを広げる活動を行った。	ニューススポーツを市民に普及・振興させることができた。イベント運営を円滑に進行させることができ、片付けもスムーズに行えた。
29	法学特講 社会の中の法体験	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	法学部	●正課授業内では実施できない体験を通して、法と社会との関わりを学び、様々な事象について実践的な考察力を身に付けるうえで、防災の観点から講座の調整・実施した。 平成29年8月5日 防災計画基本方針作成、防災計画・実施案作成、発表	法と社会との関わりを学ぶだけでなく、防災計画の周知を図ることができた。
30	子ども図書館調べ隊(たい)	読書振興課 和泉市立図書館 シティプラザ図書館	社会学部 社会福祉学科	●図書館という場を活用して地域の子どものたちと様々な形で触れ合い、また図書館では、地域の子どものたちと学生との触れ合いの場を提供するとともに、本の選び方や探し方などのサポートを行った。 平成29年度は下記のとおり事業を実施した。 1.宿題しよう会(かい)＜内容＞宿題のお手伝い 2.読み聞かせ隊(たい)＜内容＞絵本の読み聞かせ、手遊び	子どもの学びをサポートすることができた。
31	英語講師及び中国語講師による実践ガイド演習	市長公室 いずみアビール課	学習支援センター	●外国人観光客に対するガイド力の向上及び外国人観光客が安心して訪れることができる環境を整備することで、満足度を高め、より多くの誘客を期待し、桃山学院大学 学習アドバイザーWarren Decker(ウォーレンデッカー)氏に英語講師を依頼し実地演習を行いました。当日は本市で活動する和泉観光ボランティアクラブの会員14名、通訳ボランティア7名及び観光案内所に勤務するコンシェルジュ2名の計23名が参加しました。	外国人対応方法やコツを講師に直接学ぶことができ、おもてなしの心で観光ガイドを提供するにあたり、必要不可欠な臨機応変に対応する能力を向上することができた。開催期間は1日のみと限られていたものの語学力に乏しい者でも訪れた外国人観光客をガイドする自信や意欲向上に繋がる良い機会となった。
32	和泉市英語スキットコンテスト	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	外国語教育センター	●和泉市内中学生を対象に国際交流や国際理解、英語への興味を深めるために実施。外国語教育センターのマイケル・イワネ・サラバーラ講師に、他の審査員2名と共に、参加者が演じる課題に基づく英語スキット(寸劇)を審査していただいた。6組18名の参加があった。課題は、教育委員会の外国語指導助手(ALT)が作成した。 【和泉市・和泉市国際交流協会共催】	ネイティブの審査員に英語で講評をしていただき、参加者が生きた英語に触れることができた。
33	ひとり親家庭の子どもの学習支援事業	子ども部 子ども未来室	学長室 学生支援課 ボランティア活動支援室	●ひとり親家庭の子ども等(小学1～4年生)を対象に、桃山学院大学の学生を講師に、ひとり親家庭の子ども等に計6回7人(延べ72人)に学習支援を行った。	ひとり親家庭の子ども等(小学生)7人(延べ72人)に行うことができた。 保護者から今後も続けてほしいとの声も上がっている。